

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
1 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造					
1	生活環境部	おおいたジオパーク推進事業	継続	(20,000 7,160)	<ul style="list-style-type: none"> ○ジオパークの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・おおいたジオパークフェスタ（仮称）の開催 ・巡検誘致 等 ○再認定審査対応の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・学術研究・普及啓発の推進 ・受入れ体制の整備 ・ガイド・子ども等交流 等 ○地域資源（動植物、地質鉱物）の調査
2	生活環境部	新たな環境保全の仕組みづくり推進事業	特別枠	(1,175 62)	県内の豊かな自然環境を将来にわたって保全するため、自然保護団体等が取り組む保護活動を持続可能な仕組みとする環境構築に向けた調査研究を実施する。
3	生活環境部	おおいた生物多様性保全・普及啓発事業 (森林環境保全基金 2,200) (地域環境保全基金 600)	継続 (一部新規)	(8,181 4,102)	<p>本県の豊かな自然を支える生物多様性を保全するため、「第2次生物多様性おおいた県戦略(2016-2020)」に基づき、各種施策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○希少野生動植物の戦略的保全 <ul style="list-style-type: none"> ・指定希少野生動植物等のモニタリング調査 大分生物談話会(ホトサシヨウオホカ) ・指定希少野生動植物等の戦略的保全の実践(3団体に補助予定) ○地域で取り組む外来生物対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地域における防除体制の構築に向けた講師派遣等(5/10宇佐市) ○奥山地域の植生モニタリング及び対策検討 <ul style="list-style-type: none"> ・植生変化のモニタリング実施中 ○生物多様性の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・九重町の地域生物多様性対策協議会の運営に係る補助
4	生活環境部	希少野生動植物保護事業 (地域環境保全基金 1,247)	継続	(3,226 1,269)	<p>大分県指定希少野生動植物の保護に関する条例に基づき、希少野生動植物の保護を推進するため、各種施策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民参加型の生物調査「いきものウォッチング」 大分生物談話会(トナガセル) 大分田んぼ里山ネットワーク(ハセ類、ヒト類等) 宇佐自然と親しむ会(ハマルケ、ハマダシヨ等) ○希少野生動植物保護推進員研修会 ○普及啓発(HP、リーフレット作成等)

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
5	生活環境部	自然環境保全管理費	継続	(3,080 1,092)	自然公園の管理、野生動植物の保護等を推進するため、自然公園内で行われる行為について許可等を行う。また、名勝耶馬溪の巡視を行う。 ○自然公園内の行為に対する審査・許可 ・8/31現在 許可・協議61件 届出・通知13件 計74件 ○名勝耶馬溪の巡視(随時)
6	生活環境部	企画連絡調整費(自然史標本散逸防止対策事業)	新規	(1,053 53)	研究者の高齢化による県内の貴重な自然史標本の散逸を防ぐため、標本実態調査を行うとともに、収集・管理に係る体制の整備を行う。
7	生活環境部	ユネスコエコパーク推進事業	継続	(3,221 1,825)	祖母・傾地域一帯をユネスコエコパークとして登録し、自然と共生した地域振興を図るため、佐伯・竹田・豊後大野市や宮崎県及び延岡市、高千穂町、日之影町と連携した広報・普及活動に取り組む。 また、8月上旬に日本ユネスコ国内委員会に登録申請したところ、同月12日審査会が開催され、国内候補地としてユネスコへの推薦が決定された。
8	生活環境部	魅力ある景観づくり推進事業【生活環境部】 (森林環境保全基金 10,000)	継続	(10,000 76)	九州自然歩道等の歩道、標識等を整備し利用者の利便性・安全性の向上を図る。
9	生活環境部	観光施設維持管理調査事業	継続	(13,557 6,262)	自然公園内の県有施設や九州自然歩道などの維持管理等を実施する。 ・長者原ACのシャワー室等の修繕完了
10	生活環境部	温泉資源適正利用推進事業	新規	(20,000 0)	○温泉・地熱の適正利用 温泉資源の保護を図るため、地熱発電の有望地域において、温泉井に圧力温度、湧出量を計測する計器を新設し、長期的なモニタリング調査を実施
11	生活環境部	温泉対策事業	継続	(13,207 1,075)	温泉採掘許可申請に係る調査及び環境審議会温泉部会の開催(6/9,7/26の2回開催) ・掘削15件、増掘2件、動力9件 計26件
12	商工労働部	県産竹材利用促進事業 (森林環境保全基金 4,096)	継続	(4,096 300)	大分県の竹工芸の文化や技術、高い芸術性を広く一般に理解してもらうとともに、県産竹材の活用促進を図るため、竹材による生活雑貨の作製・展示を行うとともに、竹工芸の創業を支援する。
13	農林水産部	世界農業遺産ファンド推進事業	継続	(28,590 3,139)	世界農業遺産の次世代への継承と地域の元気づくりを推進するため、域内全中学校での特別授業の実施や藻場のモニタリング調査、語り部の育成、ウォーキングコースの開設等地域の自主的な活動を支援する。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
14	農林水産部	耕作放棄地再生支援事業	継続	(4,470 0)	耕作放棄の解消を図るため、農業参入企業等の農地再生経費を支援する。
15	農林水産部	集落営農構造改革対策事業	新規	(42,274 5,815)	集落営農法人の経営力強化や担い手不在集落など地域農業を総合的にサポートする組織の設立・運営の支援により農村景観の保全等を図る。
16	農林水産部	中山間地域等直接支払事業	継続	(1,764,871 23,165)	中山間地域での農業生産や耕作放棄防止、水路・農道の管理等に取り組む農業者等に対する直接支払により、農業生産活動等の維持・増進を図る。
17	農林水産部	環境に配慮した農業定着化推進事業	新規	(30,658 246)	環境に配慮した農業生産を推進するため、環境保全型農業直接支払交付金やIPM(総合的病害虫・雑草管理)技術の導入に取り組むとともに、有機農業の取組を拡大する。
18	農林水産部	農業農村多面的機能支払事業	継続	(1,005,378 832,432)	地域共同で行う、農業の多面的機能を支える活動や、地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る活動を支援する。 (取組面積25,000ha)
19	農林水産部	環境にやさしい農業農村整備推進事業 (農地諸費)	継続	(415 0)	生態系や景観に配慮した事業を推進するため、有識者による環境情報協議会を開催し、環境にやさしい農業農村整備事業の計画を策定する。
20	農林水産部	鳥獣被害総合対策事業	継続	(454,455 283,973)	イノシシ・シカ等による農林作物被害の軽減を図るため、防護柵の設置や捕獲等に要する経費に対して助成する。併せて、鳥獣対策アドバイザーを養成し、被害集落に対する指導・助言や相談活動等を実施するとともに、狩猟肉の有効活用に向けたフェアを開催する。また、狩猟者確保対策として、農業大学校に対する鳥獣対策の講義や一般に向けた銃猟セミナー、銃猟初心者のスキルアップのための射撃場での実践研修会の開催を行う。
21	農林水産部	森林シカ被害防止対策事業 (森林環境保全基金：65,107)	継続	(294,128 181,134)	シカによる森林被害の軽減を図るため、防護柵等の設置や捕獲報償金に対する助成を行う。また、効果的な捕獲技術であるAIゲートを導入し、その実証・普及を図る。
22	農林水産部	有害獣捕獲強化等推進事業	継続	(10,218 861)	被害額の多い集落や地理的条件の厳しい地域を対象に、県猟友会と連携して捕獲圧強化を推進し、被害額の減少を図る。また、近年被害額が増加傾向にある、アナグマ等の小動物やサル被害に対応するため、効果的な予防・捕獲策を検証し、各地域に普及する。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
23	農林水産部	森林環境保全推進事業	継続	(308,939 153,867)	森林環境を保全し、県民意識の醸成を図るため必要な経費の財源を確保することを目的に導入された森林環境税の収収及び使途を明確にするため、森林環境保全基金として積み立てし、収収の一元的な管理を行う。
24	農林水産部	みんなで支える森林づくり推進事業 (森林環境保全基金：5,150)	継続	(5,150 2,392)	森林環境税の適正な運営・管理を行うため、「森林づくり委員会」を開催する。「県民総参加の森林づくり」を推進するため、「豊かな国の森づくり大会」を開催する。育林等の新技術開発のため「新たな育林技術研究開発事業」を実施する。
25	農林水産部	おおいたの森林づくり広報推進事業 (森林環境保全基金：1,356)	継続	(1,356 486)	森林環境税を広く県民に知ってもらい、「県民総参加の森林づくり」を推進するため、新聞、ラジオ等各種媒体を利用した広報活動を行う。
26	農林水産部	森林づくりボランティア活動促進事業 (森林環境保全基金：22,574)	継続	(22,574 16,767)	森林ボランティア活動を推進するため、森林ボランティア情報の収集・発信、また森林ボランティア養成研修を開催する。県民による森林づくり提案事業を推進する。
27	農林水産部	荒廃竹林整備・利活用推進事業 (森林環境保全基金：20,894) (旧：竹林環境改善整備事業)	継続	(20,894 10,786)	主要観光地周辺や幹線道路沿線における荒廃竹林の伐採・整理を行う。また、竹材・タケノコ生産地として持続的管理が見込める竹林の再生、竹チップ・竹炭等の利活用を推進する。
28	農林水産部	森林環境教育・木育促進事業 (森林環境保全基金：8,354) (旧：森林環境教育推進事業)	継続	(8,354 1,000)	県内小学校等や地域で開催される研修会等に森の先生を派遣し、森林体験活動を支援する。特別保護樹木のうち樹勢が悪化しているものに保育、保全（整枝、剪定、古枝除去等）を実施する。8月に実施される次代の森づくり活動リーダーを育成する研修を支援する。木材に対する意識醸成や知識獲得を目指す「木育」を推進する。
29	農林水産部	緑化推進事業	継続	(1,943 457)	緑豊かな住みよい県土を創造するため、第5次大分県緑化基本計画に基づき、総合的に環境緑化を推進する。また、みどりの少年団のつどい、各団への奨励金の補助や、県が指定する特別保護樹木の保全事業を実施する。
30	農林水産部	公共施設等緑化事業	継続	(3,009 3,000)	大分県環境緑化条例に基づき、県民の利用度の高い公共施設等の緑化事業を実施する。平成28年度はしいきアルゲリッチハウス及び大分農業文化公園で事業実施予定。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
31	農林水産部	緑のふるさとづくり推進事業	継続	(4,679 41)	緑豊かな住みよい県土を創造するため、大分県環境緑化条例に基づき緑化に関する知識の普及及び意識の高揚を図るとともに、県民の緑化に関する活動を助長するため、緑化苗木の交付及び県民の要請に応じて技術指導等を行う。
32	農林水産部	造林事業(保育間伐推進緊急対策事業)	継続	(418,676 1,063)	3~7齢級の若齢林の保育間伐を促進するため、県、市町村の上乗せにより、公共造林事業の補助率を嵩上げし、健全で活力ある森林の維持を図る。
33	農林水産部	造林事業(再造林促進緊急対策事業)	継続	(79,871 65,806)	20%以上の広葉樹の植栽を伴う再造林に対して、公共造林事業の補助率を5%嵩上げすることで、森林所有者の森林造成意欲を喚起し、再造林の促進と森林の有する公益的機能の低下防止を図る。
34	農林水産部	再造林促進事業 (森林環境保全基金:70,200)	継続	(389,440 131,008)	林業経営適地内で、植栽本数を減らし低コストで再造林を実施する森林所有者に対し上乗せ助成を行い、林業の持続的な経営と森林の公益的機能の回復を図る。
35	農林水産部	荒廃人工林緊急整備事業 (森林環境保全基金:31,518)	継続	(334,926 1,439)	災害発生等が懸念される間伐放棄林や造林未済地について、更新伐、強度間伐や再造林を実施し、公益的機能が発揮できる健全な森林に誘導する。
36	農林水産部	森と海をつなぐ環境保全推進事業 (森林環境保全基金:3,640)	継続	(3,640 0)	漁業被害を防止するため、大分県漁業協同組合が実施する泊地などに滞留する流木等の除去、回収に要する経費を助成する。
37	土木建築部	魅力ある景観づくり推進事業【土木建築部】 (森林環境保全基金 10,653)	継続	(11,010 3,324)	景勝地等の自然景観を楽しむ視点を過去に整備している場所において、眺望を阻害している樹木等を伐採し、景観の再生を図る。また、景観の保全・形成の大切さについて理解を深めてもらうためのセミナーを開催する。
38	土木建築部	道路維持修繕費	継続	(1,749,116 1,179,635)	県管理道路の草刈り、清掃、街路樹の剪定等の環境整備を実施する。
39	土木建築部	河川海岸維持管理費	継続	(67,590 67,220)	地域のボランティア団体等を担い手にして、市町村へ河川の草刈り清掃の委託を実施する。また、河川管理施設の保持につながる美化活動等の総合的管理活動を地域住民などの愛護団体と協働により行うことで、うるおいのある水辺空間の形成、安定的な河川の維持管理を図る。
40	土木建築部	海岸環境整備事業	継続	(77,272 51,000)	台風、高潮、波浪による被害を防ぐために海岸保全施設の整備を進めることにより、地域住民の人命・財産の保全と国東半島における重要な幹線道路である国道213号の通行確保といった効果が得られる。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
41	土木建築部	海岸環境整備事業（港湾）	継続	71,487 (0)	護岸等の整備により背後地の防護・利用・環境の調和のとれた事業を実施する。
42	土木建築部	港湾管理費	継続	25,687 (10,971)	港湾施設の草刈り、清掃、ごみ拾い等といった維持管理を実施する。 (大分、別府、臼杵、佐伯、中津、国東の各港湾施設)
43	土木建築部	港湾環境整備事業	継続	383,093 (211,372)	親水緑地や防災拠点緑地の整備による港湾環境の向上を図る。
44	土木建築部	砂防維持管理費	継続	3,000 (2,999)	観光都市別府を流れる都市河川として古くから市民に親しまれている境川・春木川において、周辺住民のボランティア活動が及ばない場所について草刈りを実施する。
45	土木建築部	屋外広告物指導費	継続	2,231 (90)	違反広告物の簡易除却を定期的に行うなど、屋外広告物の指導・取り締まりを実施する。
46	土木建築部	県営都市公園里山利活用推進事業 (森林環境保全基金：1,799)	継続	1,799 (1,734)	県営都市公園の里山を利活用し、県民の自然体験や環境学習等の機会を設け、県民参加による里山の再生の推進と自然環境保全への意識を醸成する。
47	土木建築部	きれいな水再生啓発事業	継続	798 (105)	大分県生活排水対策基本方針に基づき合併処理浄化槽への転換を促進するため、生活排水処理率の低い地域等において、啓発活動を実施し、生活排水対策の意識向上を図る。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
48	教育庁	文化財保存事業費補助事業	継続	55,580 (0)	有形の文化財の調査、修理、保存のための施設の整備等並びに無形の文化財の伝承活動等の事業の実施に係る支援の一部を補助し、文化財の保存と活用を図る。
49	教育庁	日本遺産認定推進事業	新規	18,048 (240)	文化庁の「日本遺産魅力発信推進事業」に基づき、市町村を繋ぐ文化・伝統のストーリー化を行うことで、日本遺産認定を目指す。
50	教育庁	おおいた文化のひろば創造事業	継続	2,301 (879)	大分市中心部及び県内各地域において、県立文化施設の収蔵品等を展示し、県内全域で芸術文化による県民の主体的な交流の場を提供することにより、自発的な文化活動を促進する。
51	企業局	北川ダム濁水対策事業	継続	7,500 (0)	北川ダムの濁水長期化軽減につながる、佐伯広域森林組合が実施する植林事業「北川上流の森復活大作戦」や、NPO法人「宇目まちづくり協議会」が実施する北川ダム集水域における河川清掃活動への支援を実施する。
52	農林水産部	沿岸漁業振興特別対策事業 (漁場造成・資源管理対策事業 海底耕うん)	継続	3,400 (0)	漁場の造成及び改良を図るため、海底耕うんに対し経費を助成する。
53	農林水産部	野生鳥獣食肉等利活用推進事業	新規	10,600 (0)	狩猟獣肉やシカ皮の利活用による地域の仕事づくりを推進するため、狩猟肉処理施設等が実施する衛生管理設備の導入などを支援する。
小計	53事業			7,830,216 (3,271,722)	